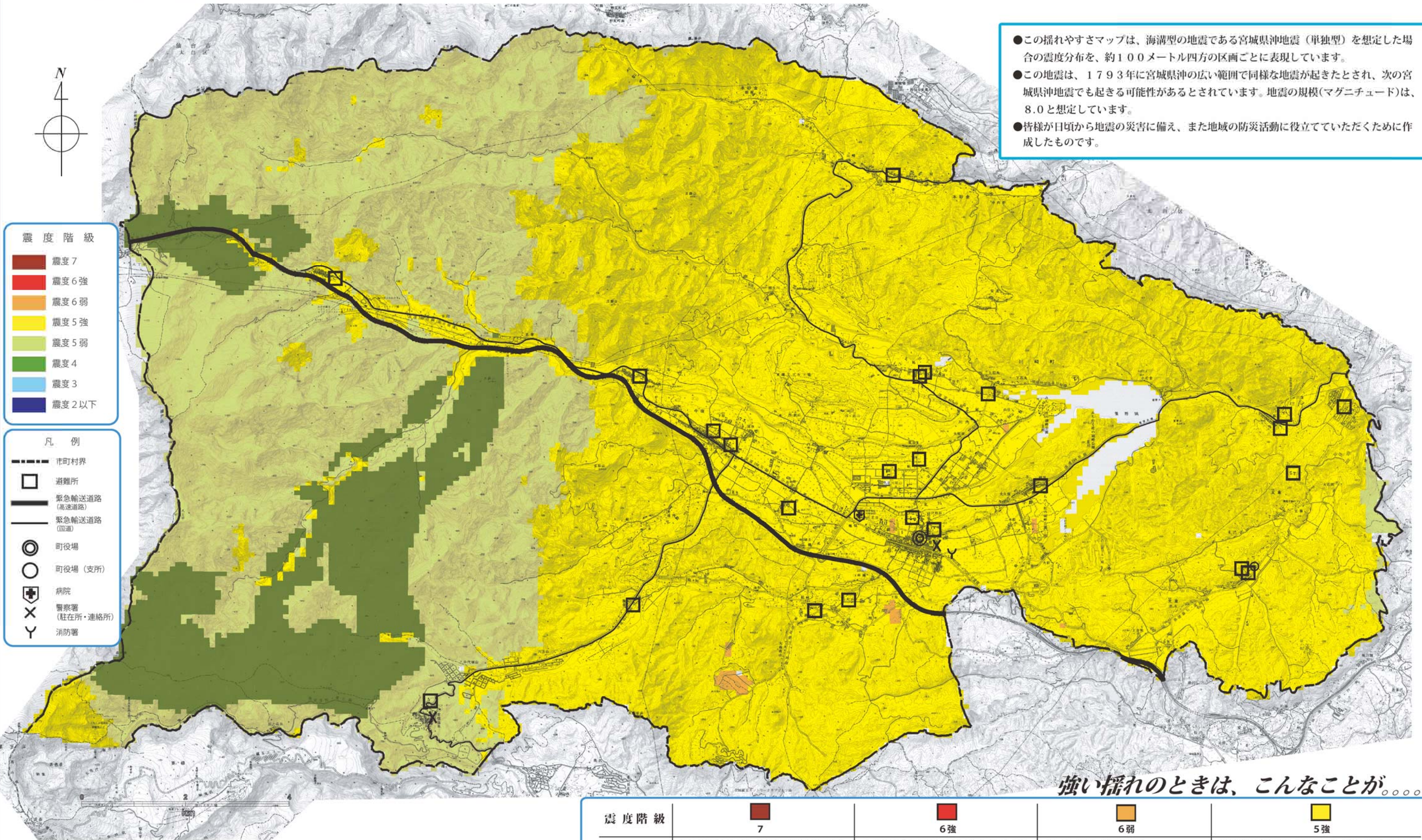


川崎町地震防災マップ

①揺れやすさマップ（宮城県沖地震（連動型）の場合）

- この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震（単独型）を想定した場合の震度分布を、約100メートル四方の区画ごとに表現しています。
- この地震は、1793年に宮城県沖の広い範囲で同様な地震が起きたとされ、次の宮城県沖地震でも起きる可能性があると考えられています。地震の規模(マグニチュード)は、8.0と想定しています。
- 皆様が日頃から地震の災害に備え、また地域の防災活動に役立てていただくために作成したものです。



- 震度階級
- 震度7
 - 震度6強
 - 震度6弱
 - 震度5強
 - 震度5弱
 - 震度4
 - 震度3
 - 震度2以下

- 凡例
- 市町村界
 - 避難所
 - 緊急輸送道路(高速道路)
 - 緊急輸送道路(国道)
 - 町役場
 - 町役場(支所)
 - 病院
 - 警察署(駐在所・連絡所)
 - 消防署

強い揺れのおときは、こんなことが。。。。

震度階級	7	6強	6弱	5強
人間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。	非常に恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
屋内の状況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることもある。一部の戸が外れる。
屋外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

このマップについてのお問合せ先： 川崎町建設水道課 TEL 84-2111(代表)

このマップは、川崎町管内図(平成18年度作成)を利用しています。